

憤慨マイクで「いつもこういう顔だから気にしないで」という作戦。でも、やっぱりコワイと思うけど…。

何が問題かを言葉にして解決を。

小倉さん 人間、親しい人に甘えたり、わがままになるのは当然のこと。どんな会社でもそんなことはあるし、誰もが何かしら甘えているものです。あなたも、実は気づかぬうちにいろいろな人を頼っているはずです。例えばあなたがウェブ更新の仕事が滞らないように、ネットワークの技術者は無理なスケジュールでシステムを整備してくれているかも知れない。**古い言い方ですが、「お互いさま」**なんです。

それに、確かに営業マンの「**うつ**」とは無茶かも知れませんが、その要求には「**売り上げを上げたい**」とか、「**商品ブランドの価値を高めたい**」などの理由があるのです。でもあなたは、目の前に降ってきた作業だけに反応して、自分がウェブを更新できるかできないかだけを気にしている。自分の仕事を、もう少し視野を広くして眺めるべきだと思います。

いきなり仕事を振ってきた営業マン。それをイヤだ、と突っぱねたあなた。そこに、どちらが正しいかという「**裁判**」は必要ないのです。

大切なのは仕事が前に進み、それに関わった人たちが成長すること。その視点に立ち、周囲との接し方を考えてみてください。

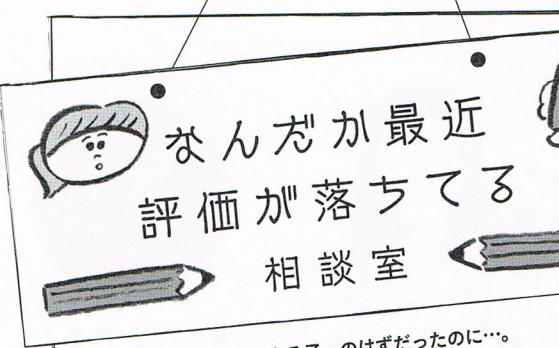
佐藤さん 仕事で感情的になるのは、残念ながら社会人としてルール違反。ルールを破った人というレッテルが貼られるだけでなく、代償は必ず自分に返ってきます。気をつけましょう。

こうした、職場のコミュニケーションミスを生む原因で最も多いのが、「こんなに大変なんだから、相手もわかってくれているはず」という思い込み。でも、思っていることは言わない限り伝わらないもの。思っていることを普通に言葉にして伝えましょう。こんなことを言つたら評価が下がる……と思う人がいるようですが、「言わずには済まない」と思われるほうが、わりにはよほど困惑するものです。

伝える時は、文句を言うのではなく、建設的に。期限はいつなのか、最低限やらなければならぬ条件は何か。もし1日でできない仕事なら、その日できることを提示する。例えば「最低でも3日はかかるので、あさってでいいですか?」などと、頼まれた時点で確認すれば、わりには答えてくれるはずです。

「できません」ではなく、「できるけどこうしたい」と条件を出せばいいのです。口に出して話せば解決することは、山のようにありますから。

不満を溜める前に、仕事の進め方を相談しよう。



私はもっと「できる子」のはずだったのに…。
悩める働き女子たちの声に識者がアドバイス!



佐藤悦子さん

外資系コスメのPRなどを経て、クリエイティブスタジオ「サムライ」のマネージャーとして活躍。



小倉 広さん

経営コンサルタント。リクルート勤務後、現職に著書に『任せてもらう技術』(実業之日本社)など

今週の悩み
理不尽な仕事の振り方をされて、
思わずキレてしまいまし…

社内の依頼に応えて、ウェブを更新する仕事をしているのですが、いいかげんな人ばかりで困っています。期日を最初に伝えてくれなかつたり、最低でも3日はかかる仕事を明日までにあげてほしいとか、口頭で曖昧な依頼をしてきたり…。社外の人にはちゃんと対応しているのかもしれません、同じ会社の人間だからって「そんな感じでよろしく」とか、「急で悪いけど頼むわ～」みたいな適当な扱いばかりされると腹がたつやら悲しいやら。それでも少しは大変さをわかってくれているはず…と思って我慢していたものの、先日、あまりにも無茶な要求をされたので、とうとう「無理なものは無理なんですっ！」と大声を出してしまいました。その場の雰囲気が完全に凍り付き、自分でも“やっっちゃった”とは思ったのですが…。このままじゃ、ただのキレイキャラになってしまします。みんなに考えを改めてもらうにはどうすればいいでしょう？（28歳・メーカー）

大変なのは、あなたも、私も。

失礼な発言をしちゃった。

天然パーマに悩むお客様に「思い切ってアフロにしたらかわいいですよ！」と口走ったら無言でにらまされました…。(25歳・美容師)

あと先を間違えた!

A社とB社に送る請求書、封筒と中身の照合ミスで違う会社に送っちゃった…。実は片方は値引きしてたんです。(27歳・メーカー)

酔つ払いじゃありません。

徹夜明け、ヘロヘロの状態で向かった打ち合わせ。一瞬で熟睡→乗り過ごし。4駅しか離れていないのに大遅刻。(31歳・広告)